



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

雑報. 地球 1936, 26(4): 306-310

ISSUE DATE:

1936-10-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/184607>

RIGHT:

強化されて、今日の産業立國となつたのである。

幸なことに日本は國土は狭いけれども主要食料品は殆ど自給自足し、就中米は日本米と呼べる、純日本食料であつて、しかも特殊の國內商品であるために世界政策から獨立して、國內景氣を統制する可能がある。同時に國內經濟が單純であるから國民生活も簡素である。かうした實力で今や歐洲に集中した世界貿易が將に分散せんとする時代の先頭にたつことを得たのである。蓋し我地理的位置の恵まれてゐることは全く天與とでもいはねばならない。しかも世界は永い平和の間に商業は供給不足を補ふ程度に止まつたが、大戰後は之に反して經濟國家主義となつたため、英佛以下歐洲諸國は生産施設の更新に苦み、いままでの生産施設の過剩に當面、苦心してゐるが、我國はまだそこまで進歩しないであつたから、こゝで容易に最新式の生産施設をなして新産業創設の機運に乗ずることが出来た。

かうした大勢を理解して、はじめて日本の經濟地理がわかるのである。本書を多くの讀者にすゝめんとするのも本書が簡單によくこの要領を得てゐる點に存する。(藤田)

## 雜報

### ○英國の蜂蜜

英國生産の蜂蜜には正確な統計がないので不明であるが一九二五年英蘭ウエールズで二萬所蘇格蘭で

千九百所であつたが、一九二九年に英蘭ウエールズで三萬四千所になつたから、蘇格蘭を一九二五年度と同様とみて三萬五千九百所の國內産出がある。處が一九二五年の蜂蜜の輸入は凡四萬七千所であり一九二九年に九萬七千所である。輸出や再輸出は六千所程度であるから英國の國內消費額は一九二五年に比し一九二九年には倍額に達したといへる。但し一九三二年英國當局者は英國の蜂蜜は生産高三萬所正味輸入七萬所であると報告してゐる。一人當約半封度の消費である。即ち十萬所を消費して其内三割は自給、七割は輸入品である。

輸入國はカナダ、一萬七千所、英領西印度一萬六千所、米國一萬三千所、其他ニュージランド・濠洲・玖馬・サントミンゴ・智利等から五千所内外を輸入する。

消費の方面はA家庭で食ふ。B藥品又はパン製造者の消費C料理方面の消費で其重要なるは家庭方面の消費である。鎮咳劑として蜜の純精なものをとるが、一般に祛痰劑、緩和劑として用ひ、風味用として料理に用うる。さうして其消費は年々増加する、智利産は流動性にとむ。製藥後もかたまたまないので、藥劑の七四%までは智利の蜂蜜を使用する。

糖菓製造材料としチョコレート、ヌーガーに使はれる。キヤラメル、結晶ゴム、クリウム、パステル等に利用され糖菓に蜜を加へると甘味が増すといふことである。しかし現在では蜂蜜を菓子に用ふる方面はあまり増進してゐない。多くの人が節儉してゐるのである。パンの味を良くし、軟味を與へ

保存をよくするための蜂蜜使用もあり増進はしてゐない。  
近來料理屋でメニユーに蜂蜜を加へたのは蜂蜜を食事  
用にする傾向の増進を示めす。

即ち一般家庭に於て蜂蜜を食用するために小賣店の需用が  
年々増進してきたといふことで、ジャムの代用に蜂蜜をパン  
につけて食ふ人が多いからである。ジャムよりも高價である  
が、英人は蜂蜜を子供時代から、暖止め、風邪藥として使用  
する永い習慣から自然蜂蜜をパンにぬる人が多い。

事實蜂蜜は春夏に少く秋冬に多い。冬は流動性蜂蜜が多く  
好まれ最近では蜂蜜と牛乳との混用が發達してゐる。蜂蜜の容  
器は壺入のものが多く、ガラス器は最近侵出したが中には日  
本の瀬戸物を用ひるものもある。日本からの輸入は目下目立  
つたものではないが、分房前に採集したバージンホネが最  
上である。流動型帶緑白色のクローバーと粘着性の透明な琥  
珀色のヘザーの二大區別がある。

○日本製のフェルト 日本製帽子の對英輸出は年々巨額  
で一九三二年には十五萬ダス六萬三千磅、一九三三年に十五  
萬二千ダス四萬六千磅一九三四年には二十七萬六千ダス八萬  
七千磅といふ工合に逐年増加してゐるが其大部分は羊毛製以  
外のもので、事實羊毛フェルトは一九三三年迄は極めて少か  
つたが一九三四年に俄然増加したといふものゝ、其他の帽子  
に比べると尙小額である。しかし一九三四年には一躍三千打  
に上つたから、一九三五年にはそれ以上に達したであらう。

英國製のフェルトに比べて千打平均三百九十七磅の英國品  
に對し日本品は千打二百八十磅であるから百磅から安い。そ  
れでうれてゆくのであつた。故に安からう、惡からうで、日  
本品は當業者に満足されてゐるのではない。英國又伊太利品  
に比して接合がわるい。いづれ改良されるであらう。

價格で本邦品は單價一打で五志七片である。(輸入税を含ま  
ず)之に對する英國品は一打(重量六〇瓦物)十志乃至十一志  
である。そこで輸入税約一志六片をかけると八志十片である  
から、取扱手数料を加へて、英國品との競争が困難になつた  
しかしそれでも安いから、この上品質をさげてまで競争する  
と禁止税をかけられる恐もある故に、こゝで品質向上に努力  
したい。一時伊太利の品が輸入杜絶したので、本邦品がずつ  
と伸張した。そこでいよいよ安値で向うとすれば護謄靴、電  
球、セルロイド櫛、メリヤスなどの今日までの進出の事例も  
あるからいづれは英國でも本邦品フェルトが輸入の首位を占  
めるに至るであらう。

しかし無暗に安値の競争をすると、英國帽子の如く自國產  
を中軸とし其四分三が輸入品であるといふ立て前から、或は  
英國當業者の悲鳴の聲から、いつ禁止税がかかるかもしれない。  
そこで我國からは輸出數量の制限、價格安定等の自發的  
統制を必要としないであらうか、けれども統制をやりすぎて  
折角伸張の傾向にある羊毛帽子の輸出を阻止するのも好むべ  
きことではないから、そこをうまくやつてゆきたい、何とい

つても帽子などは國産で十分間に合うことであるから、國內でも之を愛用すると共に先方へも進出したい。

## ○ブラジルの棉花

ブラジルの棉花栽培は東北部と西南部の二部にわけて考へられる。東北部では大部分有名なブラジルの多年生種で、白人の到着以前から栽培されてゐたものをインデアンにつくらしただけのもので一七〇〇年既に聖市から棉花を輸出した位である。米國の内亂當時一時世界での重要産地であつたが、合衆國が平時にかへると伯國棉は下火になつたしかし現在でも北東部で現金になるのは棉花であるから重要な農産物である。即ち最近平均四十三萬七千捆を輸出し全輸出の七割に達する。一時は七十三萬捆全體の八割にも達したのであるがそれは南部諸州のアップランド種の栽培が急速に展開した結果で北部棉の輸出がへつたのである。

一九二九年の北東部の棉作反別は平均百七萬一千疋で一九三四年には百三十六萬疋に増進した。其地域はエスピリト・サント・バイア、セルギーベ、アラゴアス、ペルナンブコ、パラヒバ、リオグラン・ド・ノルテ、セアラ、パラ等で十一州に亘り伯國海岸の極東北部を形成し地域廣漠人口稀薄、荒廢地砂漠なども多い處で棉作可能地は少い、そこで僅に百四十萬エーカーであるが、これで只今の人力に相當する。主として幅十里乃至五十哩で伯國の全沿岸にわたる平原地を第一とし其背後地たる山の部分はよくない。六月から後一年間の乾期となつて其間が長い。さうしてアマゾンの浚谷には雨がが多い。

不適當な雨の分布であるために棉花に適しない所が多いが幸に海岸平原だけは土壤がよく降雨の適當なところに限つて棉花がつくられてゐるが見込は少い。

これに反して南部の棉花は海岸沿ひの山を越えたミナスデエラス州、サンパウロ州、リオデジャネイロ、鼓巴拉ナの四州に限つて最近に發達しはじめたもので一時は珈琲の重要産地であつたが四州の面積五六五、一一〇平方哩の廣きありその大部分が珈琲と玉蜀黍其他食品が出来るのであるけれども、大部分は今尙人が居ない未開の處女林大草原である。現在の耕地は面積の一〇％にすぎまい。そこで將來は米國棉花に對する強大な棉花地となる可能性がある。一般にこの四州南部は棉に適した氣候であるがこのうちリオ・デ・ジャネイロ州は人口尤も稠密で南聖州及びミナス・デ・エラス州之につきパラナ最も稀薄で百に一寸出た位で、住民は葡人で其子孫、インデアンの混血もゐる。伊太利、スペイン、ドイツ人などの移住が多い。獨逸人はリオグラン・ド・スール及サンタ・カタリナの二州に移つたが、日本人は聖州に移住した。うち移民組合で成功したのは日本人である。歐洲人のうち伊太利人、ポルトガル人、スペイン人等は大珈琲國の労働者として満足してゐるやうであるが、日本人は自分が地主になることを好む。事實日本人は入國後短日月で土地を所有し、聖市日本領事館では一九三四年に棉花の四貳％は日本人の労働で出来たと報告した。一九三四年の憲法で移民は制限されたが、しかし労働力

の不足は争へない事實である。一九三〇年以後南部の棉作は増進し一九三四年には約五〇〇、四〇〇俵を産出し、伯國總産額の五一%七をしめすまでになった。

やはりサンパウロ州が最大で他の三州之についてゐる。其品種は米國のテキサスから選種したもので北東部の棉とはちがふ纖維の長さは米棉に匹敵するが、強度が弱はい、品質不揃で夾雜物が多いと批難されるが最近聖州の農場で良品種を作出して中々上等の棉が作られてきた。何分今日まで珈琲を中心に發展した所であるが、その珈琲の若木造りの間に棉花が、適當してゐるので、近來特に棉花の産が増加したのである。珈琲の價が下る。作付反別の制限が出來た今日では將來ますます棉花の増産をみることになるであらう。

## ○アフガニスタン

アフガンは古來國勢調査をやつたことがないから人口數はわからぬけれども四百五十萬位はゐるだらう。アフガン族にも數種の別がある。少數の未開民族もゐる。蒙古族やアフガンと蒙古の混血族である。立憲君主制であるが、方言が多いので共通の國語はない。アフガンのプツシウ語とベルシャ語が用ひられる。大多數は原始的牧畜業で農は少部分に限られる。山が多くて平地が少い、そこで東洋特有のバザーが出來て品物と交換する。ヒンヅクシユ山の南北で氣候がちがうから作用もかはるが、北部に大麥、小麥、豆、米、キビ、棉花を産する。穀物不足で印度から輸入する。牧畜は小草を追ふて移動する。夏は南方から北部の山中に入

り、秋になると又南部沙漠性の地方へかへる。移動に際し途中の農村都市で綿織物日用品其他を買ひ、手縫りの絨毛織物其他を賣る。そこでこれらの牧民の生産物がアフガンの對外輸出品となる、旋毛羊が約二百萬頭で毎年毛付き羊皮が六十萬枚の多にのぼり帽子や外套の襟に使はれる。ソウイェトとの貿易の第一も家畜の産物で羊、山羊、駱駝を主とする。遊牧民の中の商業者をボキンダといふ、駱駝隊商を組織して運搬をかね印度との貿易にあづかる。しかし最近貨物自動車が出現して駱駝隊商に大打撃を與へつゝある。前帝アマヌラ汗の歐化政策に反對したものゝ中にボキンダが參加したのも實にこの自動車を恐れたからであつた。

しかし遊牧民がアフガン國經濟の主幹であるから其勢力は強く官吏でも遠慮するといふ。さうして農民とは中がわるい遊牧の途中農圃を荒らすからである。歐化政策で農業が盛んになることは遊牧民の生活を脅かすために各地に工場が出來たりすることに極力反對する。即ち彼等はいつまでも半未開の狀態に國があることを望む。國內の開発は希望せぬ所である。

かうした國に工業の見るべきものはない。カブールに官營の兵器廠がある外(水力電氣でやつてゐる)一つの製靴工場があるに過ぎない。それも官營である。すべては家内工業手工品の時代で織物も副業の程度である。交通不便だから幼稚であるが金、銅、寶石、岩鹽は少しく出る。

交通としてはソウイェトクシカ村からヘラット、カンダバルに通ずるものと、國境驛テルメーズからカプールに達する南北の二大幹線の外にベルシャのメツエツドとヘラットをつなぐ自動車、の通る幹線がある。

ヘラット、カンダバル、カプールの間の道路は最も重要で自動車を通るが其他は自然道路である。航空路はテルメーズ、カプールの間四百軒を陸商一ヶ月の間を僅か三時間で飛ぶ。

大戦勃發の後獨立國を承認され、アマヌラ前帝一派の歐化主義の國政政争は反亂のために遂に失脚し、一九二九年ナデル・シャフ將軍がアフガン國王となつた。

○陸地測量部出版地圖目錄

(昭和十一年七月三十日出版)

二萬五千分一地形圖 修正

三宅島 十二號 三宅島西部 一面

神戶及明石 九號 田代之代 一面

豐橋 六號 田口 一面

海峽近傍 十一號 秋鹿 一面

山邊 六號 日栗 一面

松江近傍 十一號 八百間原野 一面

同 六號 室戸 一面

五萬分一地形圖 新版

同 七號 大之 一面

五萬分一地形圖 修正

同 八號 美保 一面

札幌 三號 追分 一面

同 十一號 卯之 一面

新庄 一號 仙臺 一面

同 八號 垂保 一面

佐倉 三號 木戸 一面

同 八號 小野 一面

酒田 五號 飛鳥 一面

同 五號 馬場 一面

村宅 八號 溫島東部 一面

同 五號 御藏 一面

○圖版第五版說明 西部平壤炭田大寶炭坑四坑附近

大寶炭坑四坑附近を西より撮影したもの。中央はトシネル、右露天掘その右下は第四坑本卸坑口である。露天掘の上部白く見えるのは大同系基底の礫岩及グリットで基底礫岩は山の斜面と層面を同じく廣く平安系上を被覆して居る。之に反し下の平安系は激しくもめて居て露天掘の寺洞統上部の南(圖の右端)には紅店統が出て来る。大寶衝動は圖の左手の谷を東西に走り左手の松鶴山の高坊山統やその下の寺洞統は激しく褶曲して右手の大同系上に衝上して居る。(中村新太郎 西部平壤炭田の地質構造概説、地球二十五卷三號參照(池邊)